

10 北信地域

<地域の環境特性>

- ・ ほぼ中央部を千曲川が流下し、北部は日本有数の豪雪地帯です。
- ・ 志賀高原や斑尾高原などの雄大な自然景観に恵まれており、また、この地に生まれた高野辰之作詞による「故郷」にうたわれた里山の姿を、今日に数多く残しています。
- ・ 東部山岳地帯は、ほぼ全域が上信越高原国立公園に属し、貴重な高層湿原など豊かな生態系を残す自然の宝庫となっています。また、ブナ林の天然林に育まれた手つかずの自然が残るなべくら高原のある関田山脈では、信越トレイルが全線開通しました。
- ・ 十三崖のチョウゲンボウ繁殖地や黒岩山のギフチョウ及びヒメギフチョウ生息地、志賀高原石の湯のゲンジボタル生息地が国の天然記念物として指定を受けており、地域の人々によって大切に守られています。
- ・ 「福島新田」、「八ヶ郷用水」など営農の中で築かれた農村資源があります。
- ・ 木島平村の「龍興寺清水」をはじめとする湧水は、地域住民にうるおいを与えています。



地元住民に親しまれる龍興寺清水（平成の名水百選）

<施策の展開>

(1) ふるさと・北信州の美しい里地・里山づくり

- ・ 里山の保全や、遊休農地の再生活用などに取り組み、美しい棚田等の景観の維持など、農山村の多面的な機能の維持・発揮に努めます。
- ・ 千曲川や高社山の雄大な眺望を背景に、沿道の花や樹木、菜の花畑、果樹園などが映える、美しい沿道景観・田園景観の育成を図ります。
- ・ 野生鳥獣の適正保護管理に努めるほか、アレチウリ等の外来動植物の駆除を住民と協力して推進します。

(2) 農山村の活性化を通じた環境保全の推進

- ・ 地域木材の利用促進や森林の間伐等を進め、二酸化炭素吸収源として地球温暖化防止に資する健全な森林づくりを推進します。
- ・ 農作物の地産地消を推進し、長距離輸送等による環境への負荷の軽減を図ります。
- ・ 環境への負荷の少ない冷熱エネルギーである雪を活用し、農作物や食品の低温貯蔵などを進めます。
- ・ 持続性の高い農業技術の導入を進めるため、産地ぐるみでエコファーマーの認定取得をめざす農業者等を支援します。
- ・ 森林セラピー、エコツーリズムなど、地域の豊かな自然を活用した通年型観光や、宿泊施設による環境にやさしい取組の推進を図ります。

(3) 良好な生活環境の維持・保全

- ・ 住民によるホテルなどの生態系保全や水辺景観形成の取組を支援するほか、子ども達の水辺観察会の開催等、自然とふれあう環境学習の場の提供に努めます。
- ・ 河川の水質汚染を防止するため、汚水処理施設の監視を行うとともに、地域の浄化槽等の整備や適正な維持管理を図ります。
- ・ きのこ使用済培地、食品残さ等バイオマス資源の効率的な循環利用等により、廃棄物の減量化、資源化を推進します。
- ・ 廃棄物の排出事業者や処理事業者に対する監視指導や啓発の実施により、廃棄物の適正処理を推進します。



志賀高原石の湯のゲンジボタル生息地の環境整備



夜間瀬川でのせせらぎサイエンス



里山を巡る全長 80km の信越トレイル